



外観パース

内観パース

壁に天然炭を使用した場合の湿度の高低より冬になると壁が枯れ全体が茶色くなってしまう。そのため、せかくの縁がなく、てしまい、冬は冬らしく、夏は夏らしく、一年中緑に近づけた。木屋根を天然の炭に包んで、壁との差がなくなって、植物の光合成による周辺環境の向上が見込まれるので、CO₂の削減により環境問題に少しでも貢献できるのではないかと考えたため、屋根は天然炭を採用しました。

コンセプト文
寺地みんなの広場には木がとて多く、緑が多いため、目立つ色にしてしまうと、公園の雰囲気が壊れてしまうと考えました。そのため、緑が多いということを活かして、屋根を草屋根にし、外壁には手入れの必要がなくなる人工芝を外壁に貼ることにし、トイレ全体が緑に包まれるようにしました。そして内装には木材を使用するため、湿気による腐食を防ぐために、通気層を設けました。また、トイレ内の臭いがこもりやすいトイレ上部には、常に開いている窓を設け、臭いが中にこもりやすいようにしました。

面積表

面積種類	計算式	計
敷地面積	$(4.5 + 7) \times 10 / 2$	57.5 m ²
建築面積	5×3.6	18 m ²
延べ面積	5×2.35	11.75 m ²
遮蔽率	$(18 / 57.5) \times 100$	31.3 %
容積率	$(11.75 / 57.5) \times 100$	20.43 %

